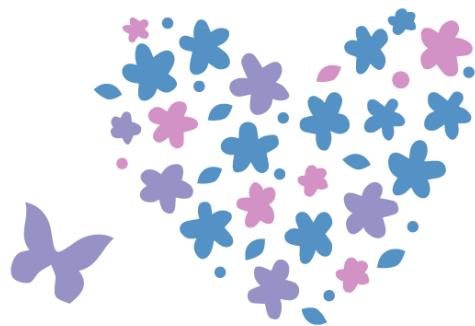


特定ケア看護師の活動支援

～上野原市立病院における役割発揮～



上野原市立病院
看護部長 和田優子

上野原市周辺地域の特性と概要



山梨県東端
東京都、神奈川県との県堺
大部分が山間部
市域は広大

市人口22,142人
高齢化率38%（2022年9月1日現在）
入院患者平均年齢81歳（直近1か月）
市外大月市、神奈川県相模原市緑区
の医療・介護ニーズあり
在宅医2名（上野原1名、緑区1名）

相反する環境下に住民は暮らしている

都市部の高度医療

無医地区へき地

病院概要と地域医療における多様な役割

診療科**16科**

2次救急指定病院

病床数**135床** 急性期病棟**85床**
地域包括ケア病棟**50床**

手術室 透析室 内視鏡室

訪問看護 訪問診療 通所リハビリ
附属診療所（2か所）

地域連携センター 健診センター

1日平均外来患者数 **261.3人**

救急車**891台**

1日平均入院患者数**65.6人**

平均在院日数**17.7日**

（2021年度データ）

常勤医**8名**

看護職員 常勤**75名** 非常勤**20名**

コメディカル**40名** 事務職員**20名**

看護配置 **7対1**（急性期）

認定看護師**3名**（感染管理、緩和ケア、がん性疼痛看護）

（2022年9月1日現在）



2018年春 NDC研修センターへ 当院の第1号（3期生）

背景：職員への説明会

医師不足、確保困難

急性期～在宅支援まで幅広い医療・看護の役割を担っている

目的：そこに暮らす人々が地域で安心・安全に過ごせるため
患者中心の医療提供を持続可能にする

準備期：特定ケア看護師の育成を決定

受講希望者の選出（志望動機を尊重）

受講準備（書類等）、院内周知



院内活動スタート

初めてのことばかり

- ・書類作成
- ・マニュアル作り
- ・医療安全、患者相談窓口の設定
- ・掲示ポスター作成



事務職員の協力（他施設の情報収集など）

院内QC活動発表会で報告

本人による各部署へのプレゼンテーションど・・・

看護部所属・医局に机設置

看護部所属にした理由：

患者さんにも看護師にも近い存在

特定ケア看護師の困りごと、悩みなどに対応する

→孤立させない

医局に机を設置した理由：

指導医含め、医師とのコミュニケーションも大事

参考書、膨大な資料を常に扱っている（場所の確保）

※時には看護師要員不足で病棟に数か月勤務してもらったことも(;^_^A

当院における特定ケア看護師の役割

- 患者管理
- 特定行為
- 横断的役割
- 教育活動



見えてくるニーズ
現場からの気づきや相談
拾い集めてコツコツ活動
皆から頼られる存在になっている
『看ると診る』の実現

コロナ禍におけるこれまでの活動

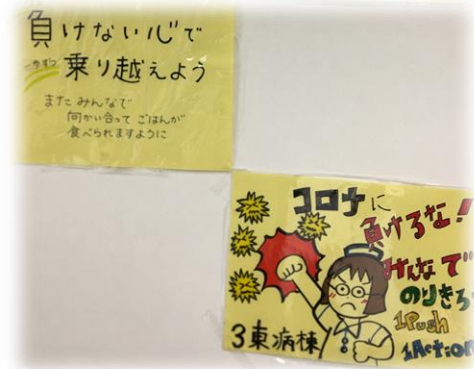
2020年春～新型コロナウイルス感染症対応開始

- ・発熱外来の設置
- ・院内感染対策（正面玄関トリアージなど）
- ・宿泊療養施設への医師・看護師派遣
- ・医師の業務量増加
- ・近隣重点医療機関への看護師派遣
- ・コロナワクチン事業への協力



2022年春～

特定ケア看護師 3期生1名
6期生1名（臨床研修）
協会内施設派遣 1名
月に1回 NP 1名 透析室支援継続中



コロナ禍における **これからの活動**

第7波の到来

重点医療機関、最大**13名**の**COVID-19**入院患者対応

特定ケア看護師**1名**が病棟をサポート

医師・病棟看護師から心強かったと言葉あり

薬剤師や放射線技師ともチームで対応

他の特定ケア看護師は

転院搬送への同乗

在宅療養者への**PICC**挿入

特定ケア看護師の役割発揮維持

→患者さん、在宅療養者へのニーズに沿った医療提供を継続

複数配置の効果！



うわまちから6月まで支援**1名**



R4 新入職者へ救急講習



うわまちから引き続き7月から支援**1名**

研修生の頼れる存在！

看護管理者として・・・

そこに暮らす人々が
安心安全な医療が受けられるように
これからも特定ケア看護師が役割を発揮できる
ように活動をサポートしていきます。

ユニフォーム
作りました！



ご清聴ありがとうございました

